

# インスリン自己注射手技に関する診療情報を研究に利用する

## ことのお知らせ

「インスリン自己注射手技に関する研究－MMSEとの関連－」について

### 1) 研究の概要

糖尿病治療の一つであるインスリン自己注射は、インスリン分泌枯渇している1型糖尿病患者においては絶対適応であり、インスリン分泌能低下患者や糖毒性状態である患者など、2型糖尿病患者においても相対的適応として選択されています。近年では、生活習慣の乱れや飲食物の欧米化に伴って2型糖尿病患者は増加しており、また、超高齢社会を迎えた現在、高齢の糖尿病患者も増加の一途を辿っています。しかし、インスリン自己注射は、針の着脱や単位の設定、空打ち、清潔操作など煩雑な手技を習得する必要があります。

そこで、インスリン自己注射手技習得において、認知機能がどのような関連があり、薬剤師や看護師などの医療従事者による療養指導によって、どこまで手技を習得できるかについて調査します。この関連性を明らかにすることで、手技指導の意義を見出すのみならず、2型糖尿病患者における治療の選択肢を拡げることや、個々の患者さんに合った療養指導を目指すことが期待されます。

この研究は、臨床研究に関する倫理指針に則り、承認を受けた研究です。2015年11月1日から2016年5月30日までに当院入院中でインスリン療法を新規導入した患者約30名の診療記録から、下記の情報を集めます。新たな質問や検査の必要はありません。

- 年齢
- MMSE
- 合併症の有無
- インスリン自己注射手技チェックリスト

### 2) 病院名及び研究責任者の氏名

【実施医療機関の研究責任者の連絡先】

岡山医療センター 薬剤部

〒701-1192 岡山市北区田益 1711-1

TEL：086-294-9911（代表）

研究責任者：薬剤部 薬務主任 田頭 尚士

研究分担者：糖尿病・代謝内科 医長 肥田 和之

薬剤部 部長 山本 宏

薬剤部 副部長 吉田 昭昌

薬剤部 薬剤師 谷 聡美

3) 研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できる旨並びにその入手・閲覧の方法

この研究は、通常の診断や治療、療養指導の中で得られた診療情報を収集する研究です。より詳細な研究の計画、研究の方法についてお知りになりたいときには、研究責任者までご連絡ください。この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等に支障がない範囲で研究計画書の閲覧や説明を受けることが可能です。

4) 個人情報の開示について研究対象者及びその関係者からの相談等への対応に関する情報

この研究で得られた結果は、あなたの個人情報（名前や住所、電話番号など）に係わる情報を切り離してから、データセンターに提出いたします。そして、他の病院から集められた結果とともにまとめられ、学会や医学雑誌などに発表されることもあります。ただし、いずれの場合にも、あなたの個人情報が公表されることは一切ありません。

この研究の関することについて、わからないことや、聞きたいこと、また何か心配なことがありましたら、いつでも遠慮なく研究担当者におたずねください。

5) 試料・情報の利用を拒否できる旨

この調査へのご自分の診療記録の使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。その場合は担当者にお申し出ください。